

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 南伊豆町社会福祉協議会

平成 28 年度社会福祉法人南伊豆町社会福祉協議会事業実績報告書

(1) 事業概要

急速に進む高齢化社会への対応として、高齢者の保健福祉・介護予防の推進、ボランティア活動の推進、社会福祉に対する人材確保、障害者の自立促進など、あらゆる面で事業の構築がなされている。これらのことを考え合わせると社協として取り組むべき事業は住民や当事者の協力が得られ、ニーズに合ったもので、協働性や専門性のあるものが挙げられる。事業推進のためには、各種の公的福祉サービスを積極的に受託し、それらを民間の立場から柔軟に運営しつつ、公的サービスでは対応できない多様なニーズにも対応できる事業を開発し、住民のあらゆる生活・福祉問題を受け止め、素早く確実に問題解決につなげる必要がある。平成 28 年度は、町より「介護支援ボランティア事業」「介護予防支援事業」「地域住民グループ支援事業」を受託し、県社会福祉協議会より「生活福祉資金貸付事業」「日常生活自立支援事業」「生活困窮者自立相談支援事業」「みんなで支える地域福祉促進事業」を受託し事業を実施した。

平成 28 年度は、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく暮らせる地域づくりを目指し、認知症、知的障害あるいは精神障害等により判断能力が不十分な人が成年後見制度を適切に利用できる仕組みづくりを進めるため、賀茂地区 1 市 5 町で協同し市民後見人養成講座を開催し、市民後見人の養成を行った。また、成年後見制度の啓発、利用促進、法人後見受任に向けて賀茂地区 1 市 5 町で成年後見事業業務協定を締結した。

(2) 事業内容

1 理事会

- 第 1 回 南伊豆町武道館(5 月 26 日)
 - ・評議員の選任について
 - ・平成 27 年度事業報告・決算について
 - ・平成 27 年度善意銀行決算について
- 第 2 回 南伊豆町武道館 (7 月 4 日)
 - ・会長、副会長の選任について
- 第 3 回 南伊豆町武道館 (12 月 23 日)
 - ・評議員の選任について
 - ・定款の一部改正について
 - ・評議員選任解任委員の選任について
 - ・評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
 - ・平成 28 年度補正予算について
 - ・訪問入浴事業の休止について
- 第 4 回 南伊豆町武道館 (1 月 18 日)
 - ・定款の一部改正について
- 第 5 回 南伊豆町武道館 (3 月 29 日)
 - ・平成 29 年度事業計画・予算について
 - ・平成 29 年度善意銀行予算について
 - ・定款の一部改正について
 - ・経理規程の一部改正について
 - ・評議員候補者の選任について

2 評議員会

第1回 南伊豆町武道館(5月26日)
・役員の選任について
・平成27年度事業報告・決算について

第2回 南伊豆町武道館(12月23日)
・定款の一部改正について
・平成28年度補正予算について

第3回 南伊豆町武道館(1月18日)
・定款の一部改正について

第4回 南伊豆町武道館(3月29日)
・平成29年度事業計画・予算について
・平成29年度善意銀行予算について
・定款の一部改正について
・経理規程の一部改正について

3 監事の監査

5月16日午後1時30分より南伊豆町武道館において監事の監査が行われ、法人の財産の状況について正確に処理されており、また、理事の業務執行状況についても適切であると認められた。

4 居宅介護支援事業

介護支援専門員を2名配置し、高齢者の訪問調査、要介護認定等に係る代行申請、サービス計画の作成を行った。また、介護予防支援事業を町より受託し業務を実施した。

○ ケアプランの作成 延 908件 (平成27年度1031件)

5 居宅介護事業

訪問介護・介護予防訪問介護は常勤ヘルパーと登録ヘルパーで在宅介護の援助を行い、入浴介護には、訪問介護のヘルパーと非常勤看護師により入浴サービスを行った。また、障害者に対する居宅介護サービスも実施した。

○ 訪問介護 延 303人 4001回 (前年291人 3753回)

○ 訪問入浴 延 104人 497回 (前年86人 409回)

○ 補助訪問介護(みなしむ) 延 170人 943回 (前年170人 949回)

○ 障害者居宅 延 72人 715回 (前年77人 647回)

6 心配事相談所の開設

(1) 開催期日 毎月15日 午前9時から午後3時

(2) 開催場所 南伊豆町武道館

(3) 相談員 吉沢かね子 田中 強 菊池由江 高野 馨
清水 登 廣田 理 福原ふくよ

(4) 身障相談員 肥田長太郎 朝倉孝之 竹河十九巳

7 寿大学の開催

老人クラブ指導者層及び会員を対象に寿大学を開講し、高齢者の教養を高めるとともに生きがいの基本を養成した。

5月17日	開講式 「町政について」 南伊豆町長 梅本和熙氏
6月21日	「シニアの食事について」 町健康福祉課 栄養士 中田亜友子氏
8月30日	「振り込め詐欺対策について」 賀茂広域消費生活センター
9月28日	「すこやかに生きる」 宝福寺住職 竹岡幸徳氏
10月26日	日帰り研修 鎌倉方面
11月22日	「のばそう健康寿命」 包括支援センター 山本真実氏 はつらつ運動サポーター
12月9日	「認知症のおはなし」 地域包括支援センター 鈴木康子氏
1月17日	「津軽三味線の演奏」 藤松会 福士藤松氏
2月16日	「懐かしい映画上映」 佐々木清和氏
3月21日	「座禅を中心とした仏道修行」 保春寺(加納) 副住職 勝田岳芳氏 閉講式

8 ふれあい広場の開催

(1) 打合せ会 10月7日 於 観光協会

(2) ふれあい広場の開催 10月16日 於 南伊豆町役場

9 老人給食サービス事業

各地区の公会堂、いこいの家等を利用して18地区で実施。

開催月日	地 区	参加人数	開催月日	地 区	参加人数
6月10日	吉 祥	16	12月8日	東子浦・下賀茂	46
6月13日	市之瀬・蛇 石	36	12月21日	石 井	18
10月3日	仲 木・西子浦	47	1月16日	二 条・毛倉野	49
10月18日	大 瀬	43	1月17日	手 石・天神原	32
11月11日	青 市・妻 良	36	2月10日	下 流	61
11月16日	加 納・下小野	44	合 計	18地区	428

協力者 JA伊豆太陽ボランティアグループ「ゆけむりの会」

10 ボランティア育成事業

(1) ボランティア活動保険への加入 349名（災害ボランティア保険35名）

(2) ボランティア連絡協議会の開催 6月8日 於 武道館
・各団体の活動報告 意見交換

(3) 災害ボランティア

南伊豆災害ボランティアコーディネートの会と協力し事業を実施。

5月6日～7日 熊本地震義援金募金

10月16日 フェスタ南伊豆参加 非常食試食会

11月23日 第4回「The 防災 In 南伊豆」

「経験者が語る、南伊豆の災害」 講師 アドバイザー 進士濱美 氏

3月4日～5日 静岡県内外の災害ボランティア図上訓練参加

1.1 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会より貸付事務の一部を受託し、低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯に対する生活福祉資金貸付事業を実施した。

貸付世帯数及び件数 4世帯 6件（平成29年3月31日現在）

1.2 日常生活自立支援事業

生活支援員2名を配置し、認知症高齢者、障害者の権利擁護のための日常的金銭管理、福祉サービス利用援助事業を実施した。

平成28年度利用者数 3名 支援回数延べ 33回

1.3 募金活動

(1) 赤い羽根共同募金

募金実績	戸別募金（34区）	1, 256, 737円
	職域・学校募金	61, 357円
	街頭・その他	6, 158円
	合 計	1, 324, 252円

(2) 歳末助け合い募金

募金実績	戸別募金（34区）	1, 251, 600円
	個人募金・その他	18, 179円
	合 計	1, 269, 779円

*歳末助け合い運動配分内訳

使 途	対象人員	配分額
低所得世帯	14世帯	231, 000円
寝たきり高齢者	24人	120, 000円
重度障害者	94人	282, 000円
施設入所者	100人	300, 000円
合 計		933, 000円

1.4 介護支援ボランティア事業

介護支援ボランティア講習を実施し、介護支援ボランティアとして69名が登録し、高齢者自身による社会貢献活動を行った。また、要援護高齢者の在宅支援活動も実施し、生活上の問題を抱える高齢者に対しての支援活動を行った。活動を実施する上で、ボランティアポイントを付与することにより、高齢者自身の社会貢献意識、介護予防意識の向上を図った。

・サロン活動ボランティア 46名(ポイントシール付与986枚)

・在宅支援ボランティア 2名(ポイントシール付与66枚)

1 5 地域住民グループ支援事業

地域において高齢者の介護予防等を行う住民ボランティアグループに活動費の助成を行った。また、講習会や研修会を実施し、福祉コミュニティづくりの推進を図った。

実施箇所 23箇所 活動回数 413回 延参加者数 5,576人

1 6 生活困窮者自立相談支援事業

県内12町社協、県社協、NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡とふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムを結成し、引きこもりや低所得者の生活、就労に関する相談支援事業を実施した。

平成28年度相談受付件数 12件

1 7 生活困窮世帯学習支援事業

生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもを対象に学習の場を提供し、学習支援を行い、生活困窮世帯の子どもの学習能力、学習意欲の向上を促進することにより、生活困窮世帯の子どもの自立促進を図った。

夏季12日間 延35人参加 冬季4日間 延24人参加

1 8 地域福祉人材育成事業（みんなで支える地域福祉促進事業）

住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような居場所づくりを推進し、趣味活動に参加して生きがいづくりをする場を提供する目的で実施。また、ボランティアグループの活動を支援し、活動の活性化を図った。

実施内容 男の料理教室 絵手紙教室 山遊び教室 発達相談 子ども体操教室
草木染教室 陶芸教室 遺書の書き方講演会 正月料理教室
傾聴ボランティア講座 ボランティア団体助成 等